

第5次小郡市総合振興計画策定に係る 市民ワークショップを開催しました！

1月17日、31日の2日間、総合保健福祉センターあすてらすにおいて、市民ワークショップを開催しました。

この市民ワークショップは、第5次小郡市総合振興計画（平成23年度～32年度）の策定にあたり、市民皆さんのご意見をお聞きするために実施したものです。

第1回には26人、第2回には24人の方にご参加いただき、各回5つのグループに分かれて話し合い、発表を行いました。

第1回、第2回のワークショップの内容をお知らせします。

◆「総合振興計画」とは、目指すべき市の将来像を明らかにし、それを実現するための総合的・長期的な方針を定めるもので、本市のまちづくりの根幹となるものです。

現在は、第4次小郡市総合振興計画に基づきまちづくりを進めています。

第1回ワークショップ（1月17日）

参加者26人が中学校区を基本とした地域別の5グループに分かれ、「課題」、「改善策」などについて話し合いました。



① 宝城中・立石中学校区

・昔から住んでいる人が多く、人のつながりが深い、安心して暮らせる地域である。

・通学路にある横断歩道に信号がない。

・地域の活性化・雇用を創出するための取り組みをしてほしい。

・特色ある学校教育・地域教育ができる環境が必要だと思う。

② 大原中・小郡中学校区

・老人クラブはなくてはならない存在だが加入者は減少している。意識付けが必要。区長のなり手がいないのも問題である。

・コミュニティバスは、運行経路や増便の検討をする必要がある。

・図書館に自習するスペースがほしい。

・河川敷を観光資源に活用したり、花立山近辺に道の駅を作ったらよいのではないか。

③ 小郡中学校区

・高齢者の外出を図ることは大切。高齢者が集まって話や運動ができる場ができるように、市民も声を出していくべき。

・PRにもっと力を入れるべき。情報発信拠点を小郡駅周辺に置いたらよいと思う。

・将来像として「誰もが住みたくなる街 小郡」を目指してはどうか。

④ 三国中学校区1

・コミュニティバスの活性化のために、利用者負担増などの自助的な努力や、公助として運行経路の拡大が必要ではないか。

・大型ショッピングセンターの誘致をしてほしい。

・小郡市の歴史は、もっと積極的にPRすべきである。

・子どもが多い割には遊び場が少ないので、遊び場をふやしてほしい。



⑤三國中校区2

- ・市のランドデザインが見えないので、見えるようにしてほしい。
- ・地元で働く場所が少ない。退職した人が働く場がない。
- ・車が運転できない人の交通手段がない。コミュニティバスの使い方の検討が必要。
- ・駐停車禁止ゾーンを作り、なるべく歩く運動をしたらよいと思う。

第2回ワークショップ(1月31日)

参加者24人が、分野別の5グループに分かれ、「良いところ」、「課題」、「改善策」などについて話し合いました。

①都市基盤・都市機能分野

- ・道路整備をどういう順番・考えでやっていけばよいか、市民を含めて再検討してみてもどうか。
- ・ガードレール、カーブミラーを含めて歩道の改善箇所をチェックし、優先順位付けをすることが必要だと思う。



②生活環境・くらし・防災分野

- ・現在のごみの分別や集積場所はよいと思う。今後は生ごみの再利用や買い物袋の削減など市民でできることをやっていく。
- ・元気な高齢者が高齢者をお世話することもできるのではないか。

③健康・医療・福祉分野

- ・退職された方の健康に対する意識が高い。健康づくりのボランティアの周知をし、参加してもらうことで、10年後も医療費の水準を維持できるのではないかと思う。

- ・車に乗れない方がいれば、隣近所の付き合いで、買い物に行つてあげたりしてはどうか。

④教育・文化・スポーツ分野

- ・学校により児童生徒数の差が大きいが、人数に応じた最適な教育を行うことが重要だと思う。
- ・県や市の教育の施策を知らない人が多い。PR不足である。
- ・地域・行政・学校が連携して教育を行うことが、私たちの責務である。

⑤産業経済・観光分野

- ・小郡市には観光資源はあるが活かされていない。交流できる場、PR強化、今ある観光地の整備が必要だと思う。
- ・若い方もするような新しい農業の姿を目指す。市民のいろんな知恵を集めてこそ、小郡がよくなると思う。

【参加者アンケートより】

- ・白熱した意見交換ができ、市民の皆さんが小郡に強い愛着と情熱を持っていることがよくわかった。
- ・もっと市民同士の議論の場があれば、より良い市の運営につながると思います。



今回のワークショップの内容は、庁内で組織する各種会議や団体代表・有識者・公募委員で組織する審議会等へ提示し、計画策定のために活用いたします。広報で掲載できなかった意見については、市ホームページで公開しています。

ご参加いただいた皆さんには、長時間にわたり活発な議論をしてくださき、ありがとうございました。

●問い合わせ先

企画課企画政策係
☎72・2111内線224
Eメール kikaku@city.ogori.lg.jp